

2026 年 7 月 10 日

横浜農業協同組合

JA横浜「ハマッ子」直売所四季菜館 ひんやりスイーツ感覚で楽しめる 「冷やしベーカリー」新発売！

JA横浜直営の「ハマッ子」直売所四季菜館（青葉区田奈町）にあるベーカリーコーナーでは、2026 年 7 月 1 日から夏向けの商品として「冷やしベーカリー」の販売を新たに始めました。近年、厳しい暑さが続く夏場に、ひんやりとしたスイーツ感覚で楽しめる商品を提供したいと企画したもの。目玉商品には横浜市内産のメロン「横浜メロン」を使い、地産地消の推進にもつなげています。

◆「冷やしベーカリー」商品ラインアップ◆

- ・ホイップメロンパン（横浜メロンのピューレ使用） 270 円（税込）
- ・メロンホイップコロネ（横浜メロンのピューレ使用／8 月 1 日より販売開始） 226 円（税込）
- ・プレミアムあんぱん 270 円（税込）
- ・プリンタルト 248 円（税込）
- ・チーズ蒸しパン 162 円（税込）

【販売期間】

- ・横浜メロンを使用した商品は 9 月 18 日（金）まで
- ・その他の商品は 9 月 29 日（火）まで

◆ベーカリーコーナー概要◆

JA横浜「ハマッ子」直売所四季菜館のベーカリーコーナーは、2026 年 2 月 15 日

にオープンしました。同店に隣接する不稼働施設（調理室）の有効活用と、横浜市内産農産物を使ったJA直売所ならではの商品提供による直売所の来店価値向上を図っています。

製造面では、山崎製パンの冷凍生地を活用することで「焼くこと」に特化し、効率運営を実現。毎日約 30 種類の焼きたてパンを提供しています。

今回、冷やしベーカリーの販売にあたり、売り場に小型冷蔵庫を新設。冷やすことでパンの新たな



写真の 2 商品に使うホイップクリームに、横浜メロンのピューレを混ぜ込んでいます。

楽しみ方を提案するとともに、「横浜メロン」の認知拡大も目指します。

◆「横浜メロン」とは◆

冷やしベーカリーの目玉商品である「ホイップメロンパン」と「メロンホイップコロネ」には、同ＪＡの農業経営事業（※１）や横浜市内の農家２戸が加工用に生産したメロンを使っています。

栽培品種は「ムーンライト」で、栽培管理が他の品種に比べて容易なことに加え、１株当たりの収量が多く糖度が高いのが特徴です。同ＪＡでは、「横浜メロン」の愛称で各種オリジナル商品に活用しています。

農業経営事業でのメロン栽培にはＪＡ職員の他に障害者も携わり、農福連携の実現にもつなげています。

※１：ＪＡ横浜の農業経営事業とは、「農業経営モデルの構築と担い手への継承」を事業方針とし、２０２０年にスタートしたもの。使われていない農地をＪＡが借り受け、ＪＡ組合員の農業経営と競合しないよう作物・時期等を考慮しながら、メロンをはじめ高収益が見込める作物の栽培モデルの実証実験をＪＡ職員が行っています。



◆企画担当者のコメント◆

ＪＡ横浜ＤＸ戦略室「暑い夏に、少しでも『涼』を感じていただける商品をお届けしたいという思いで開発に取り組みました。ひんやりとしたスイーツ感覚でご賞味いただければ幸いです。また、『横浜メロン』を使用した商品を通じて、横浜メロンの認知拡大と地産地消の推進につながればと考えています。今後もＪＡ横浜らしく、地元の農畜産物を生かしたベーカリー商品のラインアップを広げ、地域の皆さまに長く愛される商品づくりに取り組んでいきます」。

◇横浜農業協同組合 組織概要◇ * 2026年3月31日現在

創立 : 2003年4月
本店所在地 : 神奈川県横浜市旭区二俣川 1-6-21
代表者 : 代表理事組合長 柳下 健一（やなぎした けんいち）
出資金 : 112億円
組合員数 : 72,074人（正組合員 10,482人、准組合員 61,592人）
職員数 : 1,616人
ホームページ : <https://ja-yokohama.or.jp>

みんなが **WAPPY!**
やる **JA** の横浜!
共有ビジョン

総合３ヵ年計画を遂行するための心構えや姿勢として、組合員・地域・役職員の「みんなが **HAPPY** になれる **JA** を本気で作りたい！」という共通した思いを表現し掲げるものです。

本件に関するお問い合わせ先

ＪＡ横浜 組織部広報課 新保（しんぼ） TEL 045-532-8410（直通） 平日 9時～16時

メール ml-kouhou@ykh.kn-ja.or.jp